

公立学校共済組合 東海中央病院 広報誌「とうかい」

TOKAI

Autumn Issue 2026

Vol.
105

Medical × Art "Park"

【特集】

早期発見を可能に！

「原発性副甲状腺機能亢進症」

のおはなし

Index

- ・「原発性副甲状腺機能亢進症」のおはなし
- ・血液浄化センター
- ・東海中央病院 イベント報告
- ・新任医師のご紹介
- ・街のホームドクター紹介
- ・骨密度測定装置が新しくなりました

早期発見を可能に！

げんぱつせいふくこうじょうせんきのうこうしんしょう

「原発性副甲状腺機能亢進症」

のおはなし

01 原発性副甲状腺機能亢進症（PHPT）ってなに？

「早期発見がむずかしい、血中カルシウムの濃度が高くなる病気です」

まず、副甲状腺の機能についてお話ししましょう。副甲状腺は、甲状腺の裏側（左右上下）にある米粒大の4つの大きさの臓器です。小さいですが、「体中のカルシウム濃度を正常に保つ」という非常に大切な役割を果たしています。

原発性副甲状腺機能亢進症（以下PHPT）とは、この副甲状腺に腫瘍ができることにより、副甲状腺ホルモン（PTH）が過剰分泌され、カルシウムの血液内の濃度が上昇してしまう病気です。

骨からカルシウムが血中に過剰に放出されることにより、進行すると、骨粗鬆症、尿路結石、心血管死などが引き起こされる可能性が高まります。この病気のアジア人による有病率は約0.18%とされ、1,000人中約2人ほどが発症するとされています。（少ないように見えますが、おなじようにホルモンの病気によく取り上げられるバセドウ病とほぼ同じ有病率になります。）

これらは早期発見することにより、手術で治療が可能な病気ですが、多くは他の疾患を引き起こすほど重症になるまで無症状で発見が遅れやすいことが問題でした。



甲状腺の裏側に左右上下に4つあります

副甲状腺

甲状腺

（※）
当院の研究チームが、人間ドックで検査可能な「カルシウム」と「リン」の差で原発性副甲状腺機能亢進症の早期発見につながる画期的なスクリーニング（選別）方法を発見しました。今回は研究チームの代表、内分泌・糖尿病内科部長 奥村先生にお話しをお聞きしてみましょう。（この論文はBMC Endocrine Disordersに掲載されました。）

（※）「カルシウム」、「無機リン」は宿泊人間ドックの基本検査項目になります

02 どうして PHPT の早期発見は難しいの？

「合併症を発症するまで無症状の方が多いこと、有用な検査方法が検診等で調べる手軽な検査ではないことが大きな原因です」

さて、PHPTであるかを調べるためには、血液中カルシウムの値を調べる必要があります。（これを総カルシウムといいます）血液中のカルシウムの約40～50%はタンパク質（主にアルブミンと言われます）と結合しており、残り約50%が細胞内を自由に動くことができるイオン化カルシウムです。簡単に言うと、「身体に貯蔵されているカルシウムがアルブミンと結合しているカルシウム」、「細胞内を自由に行き来し、身体に影響を及ぼすのがイオン化カルシウム」ということになります。

総カルシウムもアルブミンも人間ドックで検査できますが、PHPTを精密に調べるためには、総カルシウムではなくイオン化カルシウムの値をPTH検査で調べる必要があります。人間ドック等の項目にはPTH検査がないので、PHPTの疑いで受診をしている方などにしか基本的にこの検査を受ける機会がありません。このため、無症状のPHPTを発見するのが難しいのです。



03 今回の研究で何ができるようになったの？

「人間ドック等での検査のみで、PHPTを判別できる確率が大幅に上昇しました」

今まで、人間ドックで検査できる総カルシウムの値のみで再検査をお願いしていた受診者さんの内の陽性率（PHPTである確率）は6.3%でしたが、今回発見した計算方法（総カルシウムとリンの差を用います。どちらも人間ドックの基本検査項目です）では、66.7%という従来よりも極めて高い確率

でPHPTを早期発見できることがわかりました。

また、この発見した計算方法を導入した後、当院でのPHPT診断数も約5倍ほど増加し、PHPTの早期発見にとっても役立っています。

Research Date

当院で実施した人間ドック検査のデータ

2,562 名の中で…

総カルシウム
の値を利用した場合

要精査候補の方

64 名

有病率 6.3 %

発見した計算方法
（総カルシウム－リン）
の値を利用した場合

要精査候補の方

要精査候補の方の内PHPTの方は 4 名

5~7 名

有病率 66.7 %

検査の精度が約 10 倍上昇

当院でのPHPTの診断数

研究結果 導入前

当院でのPHPT診断数

2.5 例

総カルシウム単独の
検査結果に依存して
いた時期

研究結果 導入後

当院でのPHPT診断数

12.5 例

手術適用症例も多く
発見され、早期治療
による合併症予防が
可能に

message

平田 結喜緒 先生よりメッセージ

診断が難しいPHPTを一般検査だけでスクリーニングできる優れた方法です。明日の診療にも役立つものであり、臨床現場や健診で取り入れる価値のある論文だと思います。

平田 結喜緒 先生

内分泌代謝学、高血圧症を専門とされ、数多くの専門書を執筆・監修されています。（内分泌疾患の診療マニュアルを多数監修されています。）東京医科歯科大学（現 東京科学大学）名誉教授、公益財団法人 兵庫県予防医学協会副会長を務められています。

04 この研究結果に関する東海中央病院のとりくみは？

「人間ドック検査結果のスクリーニング（選別）を導入しています」

当院ではすでに、人間ドックを実施した方に発見した計算方法を用いてスクリーニング（選別）をしています。この病気は重い合併症を引き起こすことがありますが、手術を行うことで治療できる病気です。自覚症状がないことが多いため、年に一度の人間ドックで早期発見の機会をつくることをおすすめします。



内分泌・糖尿病
内科のweb
ページはコチラ



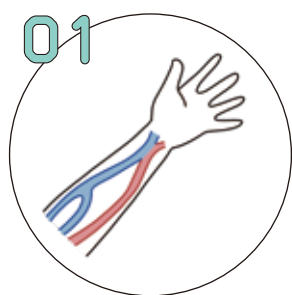
チームで透析の安全を支えます！

血液浄化センター

～シャントを長持ちさせる取り組み～

「シャント」は血液透析に欠かせない血管です。医師、看護師、臨床工学技士のチームで患者さんの「シャント」を管理し、血液透析の現場を支える血液浄化センターの取り組みをご紹介します。

01



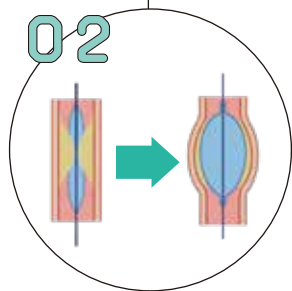
「シャント」ってなんだろう？

血液透析を行うためには、たくさんの血液を機械に送る必要があります。そこで、動脈と静脈を手術でつなぎ合わせて太い血管を作ります。これが「シャント」です。大量の血液を送ることや、血液透析のたびに針を刺すことから長年使用すると「シャント」が狭窄する、というトラブルが発生することがあります。

シャント拡張術

狭窄してしまった「シャント」にカテーテルという細い管を入れ、風船（バルーン）を膨らませて血管を内側から広げます。メスで切らないため傷口は小さく、比較的短時間でできることが特徴です。

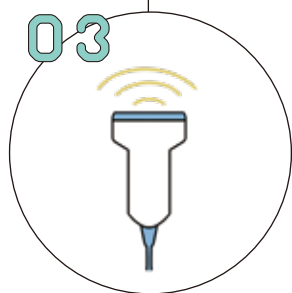
02



当院の血液浄化センターでは、「シャント拡張術」について、医師と臨床工学技士が共同で研究を重ねてまいりました。その成果をまとめた論文が、人工臓器の国際的な学術雑誌『The International Journal of Artificial Organs』に掲載されました。私たちは、研究で得た知見を日々の治療に活かしていきます。

※Tamaki T, Tsukushi S, et al. Larger balloon diameter improves vascular resistance in arteriovenous access: A retrospective analysis. 2026. doi:10.1177/03913988261451737

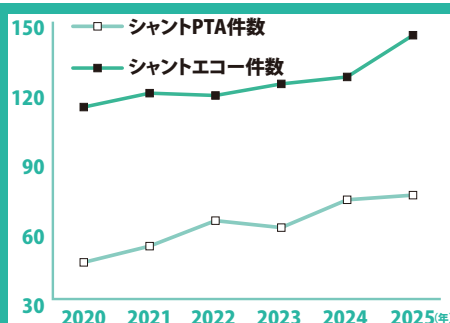
03



エコー下穿刺

超音波で血管の位置や深さを確認しながら行う穿刺法で安全性は高くなりますが、高い技術力が求められます。当院の臨床工学技士は画像から血管の状態を読み解く力と最適な穿刺方法の選択まで全員がこの技術を習得しています。

東海中央病院 シャントエコー、シャントPTA実績(件)



納得の選択とチーム医療で、最適な治療を

血液浄化センターでは、スタッフが共有した患者さまの些細な言葉や変化をもとに、チーム一丸となってより良い治療の提供に尽力しています。また透析導入前の外来では、血液透析以外の選択肢や今後の展望を丁寧に説明いたします。患者さまが深く納得した上で、安心して治療に臨めるよう全力でサポートいたします。



腎臓内科部長
筑紫さおり



腎臓病教室のご案内

腎臓不全の悪化や進行を防ぐために

要予約

医師、理学療法士、管理栄養士が腎臓病について、悪化させない食事や運動についてお話をいたします。どなたでもご参加いただけます。ぜひお申込みください。(期限:11月25日(水))

日時 令和8年 11月29日(日)

場所 東海中央病院 本館3階大会議室

お申込み方法

①②いずれかの方法でお申込みください

①お電話でのお申込み

058-382-3101(代)

②右のお申込みフォームより

お申込み
フォーム



腎臓内科 web



PICK UP!



HEI ゆふら

4/25

東海中央病院 1 階正面玄関内

東海中央病院初のマルシェイベント

当院のH.E.I活動(患者をつくらない健康、環境志向のまちづくり)に共感いただいた名古屋・鶴舞のカフェ・ギャラリーUn Peu Laboを中心にその仲間のクリエイター達がつどいました。工芸品や木工、服から食べ物まで10のクリエイターが集い、手作り品の販売や制作体験のワークショップを行いました。土曜日のひととき、エントランスが楽しい雰囲気になりました。

看護の日イベント

4/25

東海中央病院一階正面玄関内

褥瘡予防に使用するマットレスの体験や、患者さんに実施しているハンドトリートメント体験、認知症認定看護師による相談会、そして「マフ」の展示が行われました。



健康フェスティバル

6/7

中央ライフデザインセンター、プリニーの市民会館

当院は、第一循環器内科部長 内田一生医師による「心不全ってなに？」の講演、超音波・心電図検査、管理栄養士・保健師による健康相談、さらにモーションキャプチャー装置体験などで参加しました。



えきなかヘルスラボ

5/15

JR 鶴沼駅構内空中歩道

足の把持力測定を中心に、認知機能チェックや、理学療法士、言語聴覚士、保健師、管理栄養士の健康相談を各務原リハビリテーション病院と一緒に開催しました。



フレイルチェック大会

6/19

産業文化センターあすかホール

各務原市フレイルチェック大会において、機器を使った姿勢測定と結果に応じた短い運動プログラム、理学療法士による専門的なアドバイス、管理栄養士による栄養講座を実施しました。



新任医師のご紹介

令和 8 年 6 月入職

ながなわ ゆみこ
永縄 由美子

内科医長

(滋賀医科大学 2010 年卒)

令和 8 年 7 月入職

やまなか まさや
山中 雅也

外科医長

日本外科学会 外科専門医
日本消化器病学会 消化器病専門医
日本肝臓学会 肝臓専門医
(岐阜大学 2010 年卒)

令和 8 年 7 月入職

はった ゆうすけ
八田 勇輔

内科医長

日本消化器病学会 消化器病専門医
日本肝臓学会 肝臓専門医
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医
日本内科学会 総合内科専門医
(名古屋大学 2013 年卒)

6月より緩和ケア内科に赴任しました永縄と申します。地域の皆様に寄り添った緩和医療を提供できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

新しく着任した山中と申します。地域の皆さまが安心して暮らせるよう、身近な外科診療から肝胆膵の専門的な治療まで、丁寧で安全な医療を心がけます。何卒よろしくお願いいたします。

7月より消化器内科に赴任いたしました、八田勇輔と申します。前任地の名古屋大学では下部消化管グループに所属し、主にクローン病に対するダブルバルーン内視鏡下バルーン拡張術や、機能的腸障害をテーマとした研究に携わってまいりました。当面は勝手がわからずご指導を仰ぐことも多いかと存じますが、一日も早く診療に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

やまもと内科

診療科目 一般内科・消化器内科・循環器内科・リウマチ科

院長 山本 相浩 先生

関西での研鑽を胸に、各務原で最期まで寄り添う医療を

私は大阪出身で、京都でリウマチ専門医・指導医として研鑽を積みました。不思議なご縁から 40 年間過ごした関西を離れ、縁もゆかりもなかった岐阜の地へと参りました。2015 年より「おくだ内科」で診療に携わり、2024 年に「やまもと内科」として新たなスタートを切りました。一般内科や健診はもちろん、専門であるリウマチ膠原病や認知症の診療も丁寧に行っております。「最期まで寄り添う」という想いのもと、訪問看護と連携しながら訪問診療にも力を入れております。非常に頼りにしております東海中央病院とも緊密に連携を取りながら、皆様が安心して暮らせるよう力を尽くしてまいります。

教えて先生！



- Q. 各務原市の魅力や好きなところは？
人が優しい、空が広い
- Q. ご自身を動物にたとえると？
イルカ



〒509-0146

各務原市鵜沼三ツ池町 5 丁目 240

☎ 058-370-5511

病院公式 HP



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00 ~ 12:00	●	●	▲	●	●	●	/
16:30 ~ 19:00	●	●	★	●	●	/	/

▲ 第 2・第 4 水曜は休診

★ 水曜午後は訪問診療となります

【休診日】第 2・第 4 水曜・土曜午後・日曜・祝日

PICK UP!

東海中央病院の 骨密度測定装置が新しくなりました



低被ばく・短い検査時間で、患者さんにやさしい検査を提供

骨密度検査は、骨に含まれるカルシウムなどのミネラル量を測定し、骨粗しょう症のリスクを調べる検査です。骨粗しょう症には痛みなどの自覚症状がないため、気づかないうちに骨の状態が悪くなっている可能性があります。骨折を未然に防ぎ、骨がもろくなる前に対策することで、将来の健康寿命を大きく延ばすことができます。

今回導入した新装置は、腰椎と大腿骨を連続的に計測できるため、従来の装置よりも検査時間が短くなりました。また、骨形状を認識しながら測定することが可能なため、少ない被ばく量で撮影出来るようになりました。

骨の密度と質の計測

骨の強度は「骨密度」と「骨質」から成り立っています。骨密度測定は、骨の状態を評価するための重要な指標になりますが、これだけでは骨の強度を完全には把握するものではありません。新装置は、骨質の1つである海綿骨構造指標(TBS)も計測できるようになりました。TBSは、骨密度測定装置で得られた腰椎画像を解析することで、骨の微細構造を評価することができ、骨折リスクの評価に役立つとされています。

骨密度が高くても骨折しやすい人がいます。骨の密度だけでなく、骨の構造などの骨質も知っておきましょう。

東海中央病院での骨密度検査

当院では、院内の検査だけでなく、近隣の医療機関から依頼を受けて、骨密度検査を行うことも可能です。(医療機器共同利用といい、医療機関から申込をする必要があります)

骨密度の検査を実施する際は、是非ご活用ください。

公立学校共済組合 東海中央病院 広報誌「とうかい」

TOKAI 105
Autumn Issue 2026

広報誌「とうかい」VOL.105 2026秋号 発行人/病院長 藤原 道隆 発行/年4回
〒504-8601 各務原市蘇原東島町4丁目6番地2 公立学校共済組合 東海中央病院
TEL: (058) 382-3101 FAX: (058) 382-1762 URL: <https://www.tokaihp.jp>

広報誌「とうかい」バックナンバーは当院のHPで公開しています



初診・最新受付時間 8:30~11:30/お休み:土・日・祝日・年末・年始

お願い 受診の際はマイナンバーカード等をご提示ください

救急外来受付 24時間対応

☎ 058-382-3101 (代)



休日や夜間等の思わぬけがや病気で困りの方のために二次救急診療を行っています。お電話で受診したい旨をご連絡ください。